

報道関係各位

2025年7月29日

「すべてはこどもたちの笑顔のために」(証券コード 2749)

## 北海道上磯郡木古内町と子育て支援に関する協定を締結 ～地域活性化と子育て支援の充実に向けた連携～

当社グループは、2025年7月14日(月)、北海道上磯郡木古内町(町長:鈴木慎也)との間で、連携を強化し、双方の資源を有効に活用した協働による活動を推進することで一層の地域活性化及び双方の子育て・教育支援の充実を図ることを目的として、包括連携協定を締結しました。

木古内町は、北海道の最南端、渡島半島に位置し、森林と津軽海峡に囲まれた自然豊かで、夏は冷涼で過ごしやすく、冬も北海道の中では比較的温暖な気候に恵まれています。1831年から続く北海道無形民俗文化財「寒中みそぎ祭り」に代表される伝統文化と豊かな自然環境の魅力を組み合わせながら、「未来をつくるハブタウン きこない」を将来像に掲げ、北海道新幹線木古内駅の開業や函館江差自動車道木古内ICの開通といった交通の利便性を最大限に活かして、「住み続けたい・住んでみたい」と思われるまちづくりを推進しています。

また、子育て支援にも力を入れており、幼少期から本に親しむ習慣を育むため、乳児と保護者にそれぞれ絵本と本を贈る「ブックスタート事業」に加え、保育料や学校給食費の無償化、さらに高校3年生相当年齢(満18歳に達する日以降の最初の3月31日)まで医療費無償化など、子育て世帯の経済的負担を軽減するための施策を展開しています。こうした取り組みを通じて、「子どもを産み育てるなら木古内町」と多くの方に思っていただけるまちを目指しています。

当社グループは、認可保育園、認定こども園、学童クラブ、児童館などを全国で運営する子育て支援のリーディングカンパニーであり、バイリンガル保育園、モンテッソーリ式保育園、スポーツ保育園の特徴ある施設運営をはじめ、課題解決型のプログラム STEAMS 保育・学童や英語、体操、音楽、ダンス教室などの様々なプログラムを提供し、経営理念である「子育て支援を通じて笑顔溢れる社会づくりに貢献します」の実現を目指しております。



木古内町鈴木慎也町長(左)と当社代表取締役社長坂井徹(右)

本包括連携協定を通じて、子育て・教育支援の一層の充実に向け、体験プログラムの企画・開催や、子育て支援に関わる様々な事項について、木古内町と当社が相互に緊密に連携することで、子どもたちを取り巻く様々な社会問題の解決を図るとともに、未来(あす)を担う子どもたちのために対応してまいります。

### ■木古内町について■

北海道の最南端、渡島半島に位置する木古内町(2025年6月末時点 人口3,434人)は、森林と津軽海峡に囲まれた自然豊かな町です。1831年から続く北海道無形民俗文化財「寒中みそぎ祭り」に代表される伝統文化と豊かな自然、交通の利便性を活かし、「住み続けたい・住んでみたい」と思えるまちづくりを推進しています。加えて、保育料や給食費、医療費の無償化、「ブックスタート事業」など、子育て支援にも積極的に取り組み、「産み育てるなら木古内町」と思われる地域を目指しています。

町長:鈴木慎也

詳細はこちら(<https://www.town.kikonai.hokkaido.jp/>)

### ■株式会社JPホールディングスについて■

保育園・こども園・学童クラブ・児童館の運営を主軸に事業を展開している子育て支援 最大手企業(東証プライム市場・証券コード2749)です。運営施設数はグループ全体で345施設(2025年4月1日現在)となります。当社グループでは、子育て支援に関する様々な事業を開しております。

詳細はこちら(<https://www.jp-holdings.co.jp/>)

### 【報道各位からの問い合わせ先】

株式会社JPホールディングス 東京本社経営企画部 広報IR課

TEL: 03-6433-9515 FAX: 03-6455-8032

MAIL: [jphd\\_pr@jp-holdings.co.jp](mailto:jphd_pr@jp-holdings.co.jp) / <https://www.jp-holdings.co.jp/>